



NO.008

FAS通信

平成15年12月号

株式会社福地建装

上磯町中野通321番地

TEL0138-73-5558

「ファースの家」と結露

いよいよ本格的な冬が到来してきました。この季節が「ファースの家」の快適性を思う存分体感できるのではないのでしょうか。

しかし、この季節の「ファースの家」において、一つだけ心配なことがあります。それは、窓に発生する結露です。「うちは全然結露しなくて、本当に良い家だわ!」という話をよく聞きますが、これはただ単に住宅内が乾燥状態ということでしょう。乾燥状態は、静電気を発生させ、バクテリアやビールスなどの病原菌が繁殖するなど、人の体に大きな影響を与えかねません。

したがって、「ファースの家」のように、病原など繁殖しにくい40%~60%位の湿度が、もっとも快適と言われております。しかし、冬場においては開口部が低温部分となってしまうので、窓ガラス面に結露が発生する可能性があります。

いくら快適な湿度環境であっても、目に見える窓の結露は何とかなしたいものですので、その結露を軽減するワンポイントアドバイスをいたします。

【窓の結露対策】

和室など内障子がある場合は、左右を少しずつ開けた状態にしましょう。

カーテンで窓を塞ぐ状態は出来るだけ避け、空気が窓面に入る状態にしましょう。

お客さんがたくさん来たり、鍋などを行なうと急激に湿度が高くなるので、一時的にレンジフードをまわしたり、窓を開けたりして、換気を行なってください。

と に関しては、夜などはプライバシー問題で閉めることが多いと思います。その時は朝に必ず確認し、結露していれば拭く習慣をつけてください。特に和室の場合、水滴が落ちて木材がシミになる可能性がありますので、十分ご注意ください。

結露は低温部分に集中するものです。したがって、壁内の断熱性能が低下し、低温部分があれば、窓だけでなく壁内部で結露が発生し、構造体など木材への腐朽菌発生原因になります。この現象は、安易に施工したグラスウール断熱の住宅に多く見られます。

また、このような住宅では、部屋と部屋との温度差も発生するので、間仕切り壁でも同様の現象となり、木材の耐久性のほか、ダニ・カビも発生させ、人体に大きな影響を及ぼします。

「ファースの家」はこのような状態にならないよう、専用断熱材・専用サッシ・専用換気システム・専用調湿剤を使用し、人と家の健康を守り続けます。

FAS専用換気AIキットについて

【冬場の運転方法】

この時期は熱交換式換気扇とサイクルファンを稼働させてください。万が一、排気ファンが稼働していると、冷気を取り込み、蓄熱材に蓄冷されるため、床下からどんどん冷えてきます。一度、蓄冷されると蓄熱するまで、お時間を要することになりますので、お間違いのないようご注意ください。

【メンテナンス】

年末の大掃除の時には、AIキットのメンテナンスも行なってください。メンテナンスは、熱交換式換気扇のフィルターと素子、除湿機のフィルターの掃除です。より快適な環境を維持するためですので、必ず実施してください。なお、電化機器ですので、作業の際は必ず電源を切り、取り扱い説明書をよくお読みになったうえで行ってください。

AIキットの取り扱い説明書は見つからない場合は、お気軽にお問い合わせください。